

I 類科目「地域学」について

1. 連携している地元産業界等の組織名称

袋井市（包括連携協定による）

2. 実施学部・学科

理工学部：機械工学科・電気電子工学科・物質生命科学科・建築学科・土木工学科

情報学部：コンピュータシステム学科・情報デザイン学科

3. 地域学を開講する目的

地域の歴史・文化・産業・市民生活・行政を学び、地域がより発展するための課題を発見し、その課題解決の方法を地域行政の担当者と共に考える。個人は、“社会へ貢献”し“社会の恩恵”を受けて市民生活を営んでいる。身近な地域(袋井市)の学習を通して、“社会への貢献”の在り方と“社会の恩恵”について深く理解する。この授業は袋井市との連携のもと、袋井市担当者ほか多くの関係者の支援をいただいて実施される。この授業を通して、履修学生は下記の目標に達成することが望まれる。

- ①袋井市の歴史や産業、行政などを学び、市民と地域社会の関係を理解する。
- ②袋井市の課題を発見し、その課題解決に向けた提言をすることができる。
- ③自らの“社会貢献”の在り方を考えることができる。

4. 具体的な内容

※シラバス（次頁参照）

講義科目名称： 地域学 10-22-70

授業コード： 14913

英文科目名称： Community Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年後期	1	1	選択
担当教員			
石田 隆弘			
添付ファイル			

講義概要	<p>この授業では、地域の歴史・文化・産業・市民生活・行政を学び、地域がより発展するための課題を発見し、その課題解決の方法を地域行政の担当者と共に考える。私たち個人は、“社会へ貢献”し“社会の恩恵”を受けて市民生活を営んでいる。身近な地域（袋井市）の学習を通して、“社会への貢献”の在り方と“社会の恩恵”について深く理解していただきたい。</p> <p>この授業は袋井市との連携のもと、袋井市担当者ほか多くの関係者の支援をいただいて実施される。より一層の真摯な姿勢で取り組むことが求められる。</p> <p>なお、下記の授業計画は、開講時点の状況により一部変更される場合がある。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーションおよび袋井市概論</p> <p>2 袋井市の歴史と産業</p> <p>3 袋井市の行政を学ぶ</p> <p>4 課題発見のためのディスカッション</p> <p>5 袋井市の歴史を学ぶ（見学）</p> <p>6 袋井市の産業を学ぶ（見学）</p> <p>7 袋井市を創る</p> <p>8 レポートのとりまとめ</p> <p>9 発表会</p>
授業形態	<p>講義、演習</p> <p>アクティブラーニング：①:15回, ②:15回, ③:15回, ④:15回, ⑤:15回, ⑥:15回</p>
達成目標	<p>1. 袋井市の歴史や産業、行政などを学び、市民と地域社会の関係を理解する。</p> <p>2. 袋井市の課題を発見し、その課題解決に向けた提言をすることができる。</p> <p>3. 自らの“社会貢献”の在り方を考えることができる。</p>
評価方法・フィードバック	<p>授業に取り組む姿勢を考慮し、レポートおよび発表の完成度により評価する。原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える。</p>
評価基準	<p>授業に取り組む姿勢：50%、レポートおよび発表の内容：50%出評価する</p> <p>秀(1-3)：90点以上、優(1-3)：89点～80点、良(1-3)：79点～70点、可(1-2)：69点～60点</p> <p>不可：59点以下</p>
教科書・参考書	<p>なし。必要な資料を配布する。</p>
履修条件	<p>・希望者の人数により、受講者制限をする場合がある。</p>
履修上の注意	<p>なし</p>
準備学習と課題の内容	<p>必ず授業やグループディスカッション等の内容を3時間以上復習し、次回の準備をして授業にのぞむこと。</p>
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	<p>知識・理解:10%, 思考・判断:10%, 関心・意欲:20%, 態度:30%, 技能・表現:30%</p>